

第54回 日韓経済人会議

THE 54th. JAPAN - KOREA BUSINESS CONFERENCE

----- 2022.5.30 TOKYO, JAPAN / SEOUL, KOREA -----

共同声明

「日韓経済連携の新たなるステージ」

第54回日韓経済人会議を2022年5月30日に日本国東京都にて、大韓民国ソウル特別市とオンライン接続して開催し、日本側は佐々木幹夫団長以下116名、韓国側からは金鉦団長以下163名が参加した。

1969年以来、一度も中断することなく続いてきた日韓経済人会議が、今回、54回目を迎えた。厳しい状況が幾度もありながら、交流の灯を守った諸先輩に感謝を申し上げたい。今もなお、日韓の間には解決が簡単ではない問題がいくつも横たわり、厳しい両国関係により一部は経済活動にも影響を及ぼしている。最近、両国間で「これ以上の関係悪化は放置できない」という認識の共有とともに、関係改善に向けた動きが出てきたことを、両国経済人は歓迎する。

世界中に大きな苦痛をもたらした新型コロナウイルスも安定局面に近づき、希望が見えてきたことを喜ばしく思う。自由に往来できる日も遠くないものと期待したい。一方、世界経済を取り巻く環境は、ウクライナ戦争とこれに伴う国際的な経済制裁によって不透明さを増している。厳しい状況においてこそ、両国の協力、連携が危機を克服する力となる。

このような共通認識の下、「相手の立場に立って考え（易地思之）」、「経済人自ら取り組む」との新産業貿易会議の提言を踏まえつつ、以下のとおり合意した。

- 記 -

1. 経済連携の拡大

国土が狭く資源が乏しいという点で両国を取り巻く環境は類似し、環境やエネルギー、脱炭素、少子高齢化など共通する課題が多い。さらには、世界情勢やポストコロナなどめまぐるしい変化の中にあっては、両国の連携や協力、分担などが一層重要となる。第三国におけるプロジェクトの拡大を含め、エネルギー安全保障等、日韓経済人は積み重ねてきた信頼とパートナーシップのもと積極的に力を合わせる。

2. 相互交流の増進

日韓の経済人は、この「日韓経済人会議」を含む様々なチャンネルを通じて交流を深め、信頼を築き、ともに協力し、世界を舞台に成果を上げてきた。未来に向けて一層広げていくことをめざし、幅広い経済交流とともに、青少年や次世代などの人材交流、「日韓交流おまつり」などお互いの距離を縮める文化交流といった交流に取り組む。

3. 政府への期待

政府間の対話が進展し、両国の経済人が安心して自由に経済活動が行えるようになることを期待する。

なお、次回の第55回日韓経済人会議は、2023年に韓国において開催する。

2022年5月30日

日本側代表団団長 佐々木幹夫

韓国側代表団団長 金 鉦